

## 会 議 録

会議名	平成26年度 第2回 相模原市経営評価委員会		
事務局	企画部 経営監理課		
開催日時	平成26年7月31日(木曜日) 午後6時00分～午後7時30分		
開催場所	市役所本庁舎 本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	出席委員9人(別紙のとおり)	
	市		
	事務局	4人(経営監理課長 他3人)	
公開の可否	公開可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 傍聴者確認</li> <li>3 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) さがみはら都市経営指針実行計画の進捗状況の評価等について</li> <li>(2) 事務事業評価について</li> <li>(3) その他</li> </ul> </li> </ul>		

主な内容は次のとおり。

- 1 傍聴者確認
- 2 議事
  - (1) さがみはら都市経営指針実行計画の進捗状況の評価等について  
委員会管理項目の評価について審議を行った。
  - (2) 事務事業評価について  
評価の対象事業や評価方法等について説明を行った。
  - (3) その他  
PPP活用指針(案)の策定状況等について説明を行った。  
次回委員会開催日程の調整を行った。

(以下質疑応答・意見交換 委員の発言、事務局の発言)  
(1) さがみはら都市経営指針実行計画の進捗状況の評価等について

#### 時間外勤務時間縮減プロジェクト

時間外勤務時間が増加してしまう特殊な事情は、なにも台風や降雪だけに限ったことではない。今後も、何らかの事情により時間外勤務時間が増えてしまう可能性は十分考えられるので、このような問題を今後どのように取り扱っていくのかを考えていただきたい。また、「猶予」という表現はわかりづらいので変えた方がよい。

特殊事情による時間外勤務時間の取扱いを決めるよう意見を加えさせていただく。また「猶予」についても分かりやすい表現に改める。

#### 債権回収の強化

市税等は、本来、必ず納めるべきものであるとの前提に立って、債権回収の取組を強化するような表現としていただきたい。

そのように修正する。

保育料など、税以外の料金の差し押さえは、どの程度行われているのか。

最近では、税以外の料金でも差し押さえを行っているとのことだが、それほど多くないと認識している。

○差し押さえは、未入金を回収するための手段の一つであるため、差し押さえを強調しすぎる表現はどうか。

○差し押さえは、あくまでも最終手段であるため、その前段で様々な措置を講じながら、それでも納付がない場合に、差し押さえを実施していくような表現がよい。

そのように修正する。

○これら未収金の回収を強化するためには、やはり仕組みづくりが重要になってくると思う。

実際には、専管組織を立ち上げて様々な取組を行っているところではある。

○「納付に対する啓発や教育」という表現を「納付に対する意識の向上」に変更したほうがよい。

変更する。

○保育料だけを出しするのはどうか。税金とその他の料金という整理で表現してはどうか。

そのように修正する。

○委員会の評価はC評価に下げることによいか。

○他の評価と整合性を図るためにも良いのではないか。

#### パークマネジメント計画の策定と実施

○公園が子供や若者のたまり場となっていることは、そもそも子供や若者たちの居場所が少ないという問題があるためである。地域にとっては、公園環境の向上と子供や若者たちの居場所づくりの両面で考えなければいけない難しい問題である。

公園環境向上のための施策と子供や若者たちの居場所づくりの施策が連携して取り組む必要があることを意見として加える。

- 意見は、前段で公園環境について、後段で子供の居場所づくりについて記載していただきたい。

公園に子供たちがたまり場として利用していることと、ごみが捨てられていることは別の問題なので、混同しないよう記載していただきたい。

そのように修正する。

- 就学前の子供の施策は充実してきているが、就学した子供の施策はどのような状況なのか。

児童クラブの受け入れ枠の拡大や利用時間の延長など、充実を図っているところである。また、現在の児童クラブは小学校3年生までとなっているが、学年を引き上げすることも検討されている。

- ごみのポイ捨てが減れば、結果として税金の支出も減っていくこととなる。税金の納付もそうだが、モラルやマナーが向上すれば効率的な行財政運営にもつながってくる。委員会から市民へのメッセージとして入れてはどうか。全体の意見として記載する。

PPP（公民連携）活用指針に基づく民間活力導入の促進

PPP活用指針の策定については、本日、経営評価委員会で説明が行われることを踏まえた表現としていただきたい。

そのように修正する。

公立保育所の民営化

子ども・子育て支援新制度の施行で、計画にある1園民営化の方針がわかることもあるのか。

今後、子育て施策を総合的に検討していく中で、可能性としてはあり得る。

事務の効率化（会議の効率化、窓口案内サービスの充実化）

- 庁内の会議が、長時間になっている傾向なのか。

現在でも1時間30分のルールがあり、概ね、順守されていると思う。

会議の改善、及び新たな窓口サービスについては、検討で終わらず改善までたどり着くようしていただきたい。

生活保護受給者の就労による自立促進

「これまでと同様の取組では目標達成が難しい」との表現をしているが、これではC評価となってしまうので表現を改めていただきたい。

修正する。

産業用地の創出

- 企業誘致活動を強化すれば、目標が達成できるものなのか。

民間開発による取組なので、進出企業が決めれば、ある程度進んでいくものと考えている。

企業の進出を促進するためには、相模原市の魅力をもっとアピールしていくことも必要である。また、そのためには、市の知名度も向上させていく必要がある。

意見として加える。

### (2) 事務事業評価について

○1次評価において、現状維持や拡充ばかりとなっており予算を削減するものがないことについて、どのように考えているのか。

現在の評価制度は、施策を構成する主な事務事業を対象としているため、廃止や縮小としづらい事務事業となっている。また、本年度は、都市建設局の施策が多く、市としても重点的に取り組んでいるものが対象になっている。但し、1次評価を変更することもあり得ると考えている。

### (3) その他

PPP活用指針(案)について説明した。

次回の委員会の開催は、8月25日午後6時からを予定する。

氏名	所属団体等	出欠
山口 由紀子	相模女子大学教授	出
川崎 一泰	東洋大学経済学部教授	出
出雲 明子	東海大学准教授	欠
霧生 卓	公認会計士	出
田所 昌訓	相模原市自治会連合会	出
長谷川 光明	相模原商工会議所	出
大島 浩之	公募委員	出
西村 初代	公募委員	出
芳賀 貞江	公募委員	出
安田 隆春	公募委員	出